



植竹 美智雄 議員

## 問 耕作放棄地や遊休農地の活用は

答 小さい町だからできるという活用の方向性を考えたい

問 五霞町の基幹産業である農業において、耕作放棄地や遊休農地の町内における現状と今後の利活用対策は。

産業課長 耕作放棄地は農林水産業センサスのデータから、5年前は26haです。遊休農地は、昨年から6.9haで毎年増加傾向です。増加の原因は、高齢化、労働力不足や借り手がいない、農産物の価格低迷などが考えられます。利活用は、農地の集約に向けて、昨年、国により農地中間管理事業なども創設されましたが、町では制度に合致せず、

なかなか取組みが少ない状況です。

町長 今後、耕作放棄地が増えて荒廃すれば環境問題にもなり、これは自治体が管理することになり、荒れる放棄地ができる前に農協等と相談しながら対応したい。

問 特産品の開発はいつごろか。

町長 商工会のアドバイザーも受けながら本年度、道の駅で八つ頭の試作品を作ってみて、特産品の販売の方に向けていけたらと考えています。



耕作を放棄されてる農地

## 問 町道の整備状況及び維持管理は

### 答 に周辺の道路整備等を進める

問 町道の整備状況及び道路改良はどのように推進されているか。

都市建設課長 昨年4月現在858路線、道路延長23万7533mで舗装率が79.1%です。整備・改良は、国道や県道と市街地、各集落を結ぶ一級、二級の幹線道路の整備を進めることにより、効果的なルートの確立によるネットワーク化、利便性、安全確保を図るほか、拡幅改良、補修を行っています。特に、県道西関宿・栗橋線の拡幅、都市計画道路江川・幸主線及び町道5号線の整備を進めていきます。

問 ネットワークに必要な道路整備は継続していきたい。

と地域の実態を把握しながら、財政も考慮しつつ対応していきます。

問 老朽化等に伴う維持管理は、どのように行っているか。

都市建設課長 適宜パトロールを実施するほか、住民の方からの情報などにより、補修や除草等の維持管理を行っています。

町長 老朽化した道路、施設のメンテナンス等もしっかり

